

災害ボランティアセンター運営者研修<後期>
技術系支援者との連携編 開催要領

1 趣 旨

近年多発する災害において、災害救助法の改正からも、生活再建の一部である住家の復旧に対して災害ボランティアセンターへの期待が高まっています。しかし、災害ボランティアセンターを設置・運営する社会福祉協議会は、住家に対する知識や技術がないのが現実です。一方では、被災地では「技術系支援者」と呼ばれる、住宅や重機、高所等の専門的な知識や技術を持ったボランティアや NPO 団体等が活躍しています。一番被災者の近くで支援する災害ボランティアセンターとしては、相談機能と解決機能を併せ持つために、技術系支援者と連携していくことが求められています。

そこで、本研修では、社会福祉協議会が普段業務として触れることのない住家の構造や大工道具について学び、技術系支援者と連携し、被災者の生活再建の一助になれるようなコーディネーターの育成及び災害ボランティアセンター運営者を養成します。

- 2 主 催** 社会福祉法人長野県社会福祉協議会 災害 NGO 結
- 3 共 催** 長野県災害時支援ネットワーク
- 4 日 時** 令和4年9月29日（木）10:00 - 16:00
- 5 会 場** 浅間温泉文化センター（松本市浅間温泉 2-6-1）
※駐車場は市営球場をご利用ください。
- 6 対 象** 市町村社会福祉協議会職員、長野県内日本青年会議所
建設・土木関係企業、防災士
- 7 申込方法** 以下の申込フォームより9月22日（金）までにお申し込みください。
[申込フォーム] <https://forms.gle/8vcJ7quqi i3VpSqx9>



8 その他

- (1) 新型コロナウイルス感染症の影響や自然災害・犯罪予告等により参加者の安全が確保できないと判断し、本セミナーを中止または延期する場合、本会HP及び登録いただいたメールへご案内します。(http://www.nsyakyo.or.jp)
- (2) 本セミナーに係る個人情報、本会「個人情報の保護に関する方針」に基づき適切に取り扱い、他の目的で使用することはありません。

9 プログラム

講師：災害 NGO 結

時間	内容
10 : 00	開会 オリエンテーション
10 : 30	講義「住家に対するボランティア活動の意味」 災害廃棄物の運搬や泥の撤去、清掃等、様々なボランティア活動があります。その活動は単なる住家の支援だけではなく、実は被災者のこれからの生活を支援しています。講義をベースに被災者の生活を中心におき、寄り添った支援について学びます
13 : 00	ワークショップ「現場調査方法と技術系支援者との連携」 災害ボランティアセンターは被災者の生活再建に向けた意向や生活課題の調査を行います。ワークショップを通じて、調査の方法やポイントを学ぶとともに、技術系支援者と連携するための情報共有方法について学びます。
15 : 00	体験「安全な道具の使い方」 大工道具は便利ですが、使い方を間違えれば大変危険です。安全に使う方法を学び、ボランティア活動者の安全面に配慮したコーディネートを学びます。
16 : 00	閉会